

ラウンドテーブル

自発的隷従を撃つ

“自由”の名の下での自発的隷従、16世紀フランスから時空を超えてよみがえるチョー古典は、グローバル化した世界で自閉する日本の統治構造を撃つ。権力は力によって支配するのではなく、人びとの自発的隷従によって維持される。3・11後の流動状況のなか、強烈な揺り戻しにあおられる日本で、原発・メディアから日米安保・沖縄まで、“自由”と“管理統制”の結託を問う。

2013年12月21日(土)

13:30-17:30 (開場 13:00)

東京外国語大学 (府中キャンパス)

研究講義棟 115 教室 (予約不要・入場無料)

13:30 -15:00 第一部：エティエンヌ・ド・ラ・ボエシ『自発的隷従』を読む

西谷 修 (東京外国語大学)

真島 一郎 (東京外国語大学)

土佐 弘之 (神戸大学)

中山 智香子 (東京外国語大学)

15:15 -16:45 第二部：自発的隷従と日本の現在

小森 陽一 (東京大学)

七沢 潔 (NHK放送文化研究所)

仲里 効 (映像批評家)

司会・進行：西谷 修／中山 智香子 (東京外国語大学)

16:45 -17:15 総合討論

全登壇者

17:15 -17:30 特別企画「エッジの水底から」

朗読：川満 信一 (詩人)

【交通アクセス】

○JR 中央線「武蔵境」駅乗り換え 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分

○京王線「飛田給」駅より京王バス「多磨」行き「東京外国語大学前」徒歩1分

【問い合わせ】

東京外国語大学大学院 GSL

mail: gsl506@hotmail.co.jp